

第3章 アジア美術館の 魅力向上の基本的な方針

第1節 アジア美術館の魅力向上の基本的な方針

これまでの内容を踏まえ、アジア美術館の魅力向上の基本的な方針を下記のように取りまとめました。

アジア美術と出会い、その問いかけから、自分と世界を見つめる美術館 交流を通じて、アジア美術の発展と福岡市の都市の魅力向上に貢献する美術館

福岡市は、古来、交流によって発展してきました。海を介してアジアの国々となつながら、多様性を受け入れながら都市として成長し続けてきた歴史があります。

福岡アジア美術館は、歴史的に形成されてきた福岡市のアイデンティティを体現するものとして、1999年に開館しました。アジアの近現代美術を系統的に収集し展示する、世界初、かつ唯一の美術館として、これまで5,000点以上の作品を収集し、様々な展覧会や美術交流を行ってきました。

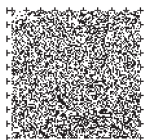
開館から25年が経過し、福岡アジア美術館を取り巻く情勢にも大きな変化が生じています。アジア諸国は大きな発展をとげ、世界においてその存在感は増しており、アジアの躍動とともに、アジア美術もまた世界的に注目を集めています。さらに、AI時代を迎えた今、効率性や利便性が手軽に得られる中で、人生をいかに主体的に生きていくべきかという根源的な問いを見つめ直すものとして、文化芸術の重要性が増しています。

アジアの近現代美術は、それぞれの地域で発展してきた独自の社会や文化が、西洋や日本など外的な影響で大きく変化していき、伝統的価値観と近代的価値観がせめぎあう中で生まれ、そこに生きる人々と、人々が抱える葛藤や社会の矛盾を表現してきました。こうした作品が発する、大小さまざまな「問いかけ」を通じて、自分や世界を見つめ、新たな視点や気づき、他者への理解を共有する場として、福岡アジア美術館を発展させてまいります。

そこで、展示機能などを、天神の中心に位置する警固公園地下に展開し、福岡の新たな顔として、子どもから大人まで、より多くの市民や国内外の観光客が気軽に訪れ、アジア美術と出会い、楽しむ場となることを目指します。さらには、美術館の活動を通じて、アジアのアーティストと市民、美術関係者との交流を促進し、アーティストの成長とアジア美術の発展に一層貢献していきます。

加えて、福岡アジア美術館は、近隣の文化施設や企業とも連携し、地域の文化的魅力の向上に寄与し、アジア美術を通じて、多様性や国際的な視野を育み、市民の誇り(シビックプライド)を醸成します。持続可能なまちづくりに貢献するため、環境に配慮した施設整備を目指します。

福岡アジア美術館は、こうした取組みを通じて、福岡市が目指す「人と環境と都市活力が高い次元で調和したアジアのリーダー都市」の実現に貢献してまいります。



第2節 これからのアジア美術館の方向性

第1節で示したアジア美術館の魅力向上の基本的な方針の実現に向けて、アジア美術を通じて、アジアの国・地域の歴史や文化、社会的背景への理解を深め、交流を通じて、アジア美術の発展に貢献することができるよう、これからのアジア美術館の4つの方向性を掲げ、その方向性に沿った美術館活動の磨き上げを図ることとします。

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 出会う・気づく | －アジア美術と気軽に会おう場－ |
| 2. 楽しむ・見つめる | －アジア美術を楽しみ、自分や世界を見つめる場－ |
| 3. 伝える・拡げる | －アジア美術の魅力を発信し、発展に貢献する場－ |
| 4. 創る・挑む | －アーティストの創造性を高め、チャレンジを支える場－ |

(1) 出会う・気づく －アジア美術と気軽に会おう場－

子どもから大人まで、さまざまなきっかけで訪れる人々に対して、アジアの多様な美術や文化と出会う場を提供します。

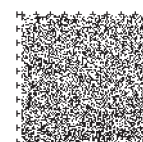
天神の中心に位置する公園に展開し、集客力のある施設としてにぎわいを創出し、より多くの人々にアジア美術の魅力に気づく機会を提供します。

また、地域の安全・安心にも貢献する場となることを目指します。

実現に向けた具体的な取組み(案)	<ul style="list-style-type: none"> ● 展示室外におけるアートを感じる空間の創出 ● 市民や来街者が気軽に参加できる体験型イベントの充実 など
------------------	--

	主なターゲット像	提供内容イメージ
これからのアジア美術館が提供するもの	市民・来街者	<ul style="list-style-type: none"> ● 自宅や職場、学校とは別に第三の居場所にもなる場 ● 買い物ついでに、アートに触れる施設 ● 仕事帰りや休憩時間に、アートに触れ、リフレッシュする場、新しい発想を得る場 ● 公園の延長として、偶然にアートに出会える場
	観光客・インバウンド ⁹	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界唯一の美術館として、福岡の文化観光の目的地
	地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常の中で文化的な体験を得る施設 ● 地域の安全・安心に貢献する施設

⁹ インバウンド:海外から日本を訪れる外国人による旅行およびその旅行者をいいます。



(2) 楽しむ・見つめる –アジア美術を楽しみ、自分や世界を見つめる場–

子どもから大人まで、アジアの美術作品が発する多様な問いかけを通じて、自分や世界を見つめ、広い視点や柔軟な発想を得ることができる場を創出します。

特に、未来を担う子どもたちにとっては、楽しみながらアジア美術を体験し、多文化や多様性について知る機会となる場を提供します。

実現に向けた 具体的な取組み (案)	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども向け対話型鑑賞の強化 ● 高齢者、また障がい者のためのプログラムの充実 など
-----------------------------------	--

	主なターゲット像	提供内容イメージ
これからの アジア美術館が 提供するもの	子ども・親子	<ul style="list-style-type: none"> ● 多文化や多様性を体験的に知る場 ● 子どもと過ごせるスペースで、アジアの文化に親しむ場
	教育関係者	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな学びの手法や教材開発の実施の場
	高齢者・ 障がいのある方	<ul style="list-style-type: none"> ● 心の安らぎが得られ、社会参加ができる場

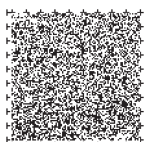
(3) 伝える・広げる –アジア美術の魅力を発信し、発展に貢献する場–

アジア美術と人々をつなぎ、作品が発する問いかけから生じた新たな視点や気づきを共有するため、魅力的な展示を行います。

アジア美術の歩みを物語る作品を幅広く収集し、調査・研究を推進することで、作品の価値を高め、魅力を発信し、アジア美術の発展に貢献していきます。

さらに、国内外の研究者や関連施設との連携を強化し、次世代の人材育成を図っていきます。

周辺の施設や企業等とも連携を進め、地域の回遊性やブランド価値の向上にも貢献します。



実現に向けた 具体的な取組み (案)	<ul style="list-style-type: none"> ● アジア美術に関する幅広く継続的な収集、調査、研究、展示 ● アジアの学芸員や研究者の招へい、協働企画・研究の推進、国内外の美術館との広範な連携 ● 周辺の施設や企業と連携したイベント等の実施 など
--------------------------	--

	主なターゲット像	提供内容イメージ
これからの アジア美術館が 提供するもの	研究者・ 大学・研究機関	<ul style="list-style-type: none"> ● アジア美術に関する貴重な研究資源が集まり、活用できる研究拠点
	企業・NPO 団体	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺の事業者 ⇒連携することで文化を発信できるパートナー ● 協賛企業 ⇒社会貢献活動やブランド価値向上のパートナー ● 観光・ホテル業界 ⇒集客につながる文化観光施設 ● NPO 団体 ⇒アートを通じた社会貢献の場
	美術関係者	<ul style="list-style-type: none"> ● アジアのアーティストや表現と出会う場

(4) 創る・挑む –アーティストの創造性を高め、チャレンジを支える場–

アジアのアーティストの作品の収集や展覧会の開催、アーティストが滞在して制作も行うアーティスト・イン・レジデンス等の充実を通じて、アーティストの成長を支援するとともに、新たな表現や世界への挑戦を支えます。

実現に向けた 具体的な取組み (案)	<ul style="list-style-type: none"> ● アーティスト・イン・レジデンス事業の充実 ● アジアのアーティストと福岡のアーティストや市民との交流を促進 ● アジアのアーティストの個展やグループ展の企画・実施 など
--------------------------	--

	主なターゲット像	提供内容イメージ
これからの アジア美術館が 提供するもの	アジアの アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> ● アジアの美術や文化から、刺激や影響を受ける場 ● 世界に向けた発信と交流の拠点

